



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 ソディック

コード番号 6143 URL <http://www.sodick.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金子 雄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 前島 裕史

TEL 045-942-3111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	45,494	11.3	3,355	111.1	4,066	51.1	2,880	33.3
26年3月期第3四半期	40,871	△3.2	1,588	△60.6	2,690	△35.2	2,161	31.6

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 5,640百万円 (17.1%) 26年3月期第3四半期 4,815百万円 (31.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第3四半期	57.24	—
26年3月期第3四半期	42.96	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第3四半期	103,641	47,333	45.6	939.74
26年3月期	98,776	42,451	42.9	842.40

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 47,285百万円 26年3月期 42,388百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	61,500	8.1	3,900	47.1	3,500	△9.9	2,600	△38.0	51.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	53,432,510 株	26年3月期	53,432,510 株
27年3月期3Q	3,114,248 株	26年3月期	3,113,536 株
27年3月期3Q	50,318,646 株	26年3月期3Q	50,319,218 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、予想数値に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国では雇用情勢の改善が続き堅調に推移し、欧州では国別に濃淡があるものの総じて好調を維持しました。中国経済は成長率が鈍化しているものの、設備投資は順調に推移しております。わが国経済においては、4月の消費税率引き上げ後の落ち込みから持ち直しつつある中で、政府の経済政策等により企業の設備投資は回復基調にあります。

このような事業環境の中、当社グループでは、10月に開催された日本国際工作機械見本市(JIMTOF2014)において、次世代の生産技術として近年注目を集めている金属3Dプリンタ「OPM250L」をはじめ、ワイヤ放電加工機「AP250L」やPCD工具加工用横走行ワイヤ放電加工機「ASX300」などを出展しました。同じく10月に開催された国際プラスチックフェア(IPF Japan 2014)には、自動化システム、加飾成形システム、ハイサイクル成形、CF長繊維材成形など多様な射出成形機を出展し、積極的な営業活動を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比46億23百万円増(前年同四半期比11.3%増)の454億94百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同四半期比17億66百万円増(前年同四半期比111.1%増)の33億55百万円、経常利益は前年同四半期比13億75百万円増(前年同四半期比51.1%増)の40億66百万円、四半期純利益は前年同四半期比7億18百万円増(前年同四半期比33.3%増)の28億80百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

前連結会計年度末と比較して、資産は48億65百万円増加し、1,036億41百万円となりました。主な増加要因としては、現金及び預金の増加25億57百万円、仕掛品の増加18億81百万円、商品及び製品の増加12億93百万円等があげられますが、建物及び構築物の減少13億82百万円等により一部相殺されております。

また、負債においては前連結会計年度末と比較して、16百万円減少し、563億8百万円となりました。主な減少要因としては、1年以内返済予定を含む長期借入金の減少22億34百万円等があげられますが、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が19億83百万円増加したこと等により一部相殺されております。

純資産においては前連結会計年度末と比較して、48億81百万円増加し、473億33百万円となりました。主な増加要因としては、利益剰余金の増加21億22百万円等が挙げられます。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が29百万円増加し、利益剰余金が27百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,049	26,606
受取手形及び売掛金	14,968	15,234
電子記録債権	—	41
割賦売掛金	50	47
商品及び製品	5,772	7,066
仕掛品	7,285	9,166
原材料及び貯蔵品	8,905	8,894
その他	3,645	3,877
貸倒引当金	△120	△157
流動資産合計	64,557	70,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,813	19,430
機械装置及び運搬具	15,134	16,229
その他	10,348	10,497
減価償却累計額	△21,846	△21,817
有形固定資産合計	24,450	24,340
無形固定資産		
のれん	2,830	2,730
その他	1,516	1,488
無形固定資産合計	4,346	4,218
投資その他の資産		
その他	5,628	4,516
貸倒引当金	△207	△211
投資その他の資産合計	5,421	4,305
固定資産合計	34,218	32,864
資産合計	98,776	103,641

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,530	5,036
電子記録債務	—	5,476
短期借入金	5,181	5,118
1年内返済予定の長期借入金	9,613	9,607
未払法人税等	162	406
引当金	800	610
その他	5,492	5,867
流動負債合計	29,779	32,125
固定負債		
社債	16	9
長期借入金	24,656	22,427
退職給付に係る負債	1,003	963
引当金	215	210
資産除去債務	229	94
その他	423	479
固定負債合計	26,544	24,183
負債合計	56,324	56,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,775	20,775
資本剰余金	5,879	5,879
利益剰余金	13,714	15,836
自己株式	△1,695	△1,696
株主資本合計	38,673	40,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	658	959
為替換算調整勘定	3,262	5,724
退職給付に係る調整累計額	△207	△193
その他の包括利益累計額合計	3,714	6,490
少数株主持分	63	47
純資産合計	42,451	47,333
負債純資産合計	98,776	103,641

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	40,871	45,494
売上原価	28,982	30,393
売上総利益	11,889	15,100
割賦販売未実現利益戻入額	1	1
割賦販売未実現利益繰入額	2	0
差引売上総利益	11,888	15,101
販売費及び一般管理費		
人件費	4,218	4,606
貸倒引当金繰入額	15	37
その他	6,065	7,103
販売費及び一般管理費合計	10,299	11,746
営業利益	1,588	3,355
営業外収益		
受取利息	53	97
受取配当金	51	40
為替差益	1,290	998
その他	384	166
営業外収益合計	1,779	1,302
営業外費用		
支払利息	481	412
その他	196	178
営業外費用合計	677	591
経常利益	2,690	4,066
特別利益		
固定資産売却益	39	76
投資有価証券売却益	—	9
特別利益合計	39	86
特別損失		
固定資産除却損	26	25
減損損失	0	35
その他	3	17
特別損失合計	30	78
税金等調整前四半期純利益	2,700	4,074
法人税、住民税及び事業税	677	740
法人税等調整額	△126	471
法人税等合計	551	1,212
少数株主損益調整前四半期純利益	2,149	2,862
少数株主損失(△)	△12	△17
四半期純利益	2,161	2,880

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,149	2,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	370	300
為替換算調整勘定	2,295	2,463
退職給付に係る調整額	—	13
その他の包括利益合計	2,666	2,778
四半期包括利益	4,815	5,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,815	5,656
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△15



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械	産業機械	食品機械	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	29,160	6,473	2,207	37,841	3,029	40,871	—	40,871
セグメント間の内部 売上高又は振替高	45	37	—	83	1,573	1,656	△1,656	—
計	29,206	6,511	2,207	37,925	4,602	42,528	△1,656	40,871
セグメント利益又は 損失(△)	2,423	593	27	3,044	△78	2,965	△1,376	1,588

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△13億76百万円には、セグメント間取引消去1億55百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15億32百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

工作機械事業セグメントにおいて、当社は平成25年6月25日付けで当社の連結子会社であるSodick Holding Corporationの株式を追加取得し、当社持分比率を100%としております。

これによる当第3四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は5億38百万円であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械	産業機械	食品機械	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,287	5,884	1,539	41,710	3,783	45,494	—	45,494
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	10	—	31	2,104	2,135	△2,135	—
計	34,307	5,895	1,539	41,741	5,888	47,630	△2,135	45,494
セグメント利益又は 損失(△)	4,990	91	△154	4,927	503	5,430	△2,075	3,355

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△20億75百万円には、セグメント間取引消去△3億15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△17億60百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に係る事項

前連結会計年度より、当社グループの企業活動の実態に即した、より適切な経営情報の開示を行うため報告セグメントの区分を変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。